

三二災害支援講座

自然災害の多い国 日本

日本は、外国に比べて台風、大雨、大雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火などの自然災害が発生しやすい国土で、地域の地形特性ごとに起こりやすい自然災害があります。

例えば、山地や台地の斜面では、がけ崩れ・土石流・地すべりの発生に、低地では、洪水や津波の発生に注意が必要です。宅地の造成などにより、元の地形が分かりにくくなっている場合も、地名が手がかりとなり、その土地の特性を知ることができる場合があります。地名には、その土地で起きた災害の歴史や特徴を現在に伝えるメッセージが隠されていることがあるのです。

*注意：地名には様々な由来があるため、必ずしも地形とは結びつかない場合があることをご了承下さい。

災害に関連する地名漢字の一例

地域特性	関連漢字	災害種類
低地湿地	池、谷、草、沢、濠、戸、洞、州、鶴、井、泉、行、滑、沼、代、瀬、島、堰、下、連、窪、久保、新田 など	液状化 洪水
	川、清水、泉、井、江 など	津波
谷	谷津、谷地、谷戸、峡、入、江、沢 など	がけ崩れ
	洞、窪、久保 など	土石流
	山、岳、嶺、峰、曾根、岡 など	地すべり
がけ	坂、垂、欠、岸、傾、崩、刈、峡 など	がけ崩れ
	日向、日陰、裏、腰 など	土石流
崩壊地形	倉、蔵、鞍、暗（がけ、深い谷、絶壁）など	がけ崩れ
	小豆、厚、熱、安土（土砂流出の場所）など	
	杉、助、管、月、附（土が空く）など	地すべり
	去、猿、佐礼（ザレ（礫））など	
埋立地	梅、埋、宇目、馬 など	地すべり
	（埋立てた場所、地すべりで埋まった場所）	液状化

<東京都地質調査業協会「技術ノート」をもとに作成>

自然災害のヒントは「地名」にあり

上記で一部を紹介させていただきましたが、他にもたくさんあります。

今お住まいの住所が、宅地開発などで新しい地名になっていたりすることもあります。ぜひ現在の名称だけでなく、旧地名も含めて、地名の由来を図書館や自治体などで調べてみてはいかがでしょうか？